

研究対象の方への情報公開文書

《研究課題名》

当院におけるMRI/超音波融合画像を用いた前立腺針生検の診断に関する研究

研究協力をお願い

滋賀県立総合病院泌尿器科において上記の研究を行います。この研究は、対象となる方の滋賀県立総合病院で既に保有している臨床情報を調査する研究であり、研究目的や研究方法は以下の通りです。情報等の使用について、直接に説明して同意はいただかずに、このお知らせをもって公開いたします。対象となる方におかれましては、研究の主旨・方法をご理解いただきますようお願い申し上げます。この研究への参加（情報提供など）を希望されない場合、あるいは、研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡ください。

（１）研究の概要について

研究対象者：2024年4月以降に当科で前立腺針生検を受けた患者さん

研究期間：承認日～2026年4月22日

研究機関・実施責任者：滋賀県立総合病院 泌尿器科 吉田徹

（２）研究の意義、目的について

腫瘍マーカーであるPSAの数値が高いなどの結果で前立腺がんを疑われた場合に、がん細胞を確認するために針生検で組織を採取することが必要です。当院では通常はMRIの画像検査で前立腺癌を疑う部位があるかどうかの検討を行います。MRIで陰性であった場合でも生検でがん細胞が確認されることもあります。MRIで異常所見がある部位からは高率にがん細胞が検出されると言われます。針生検を行う手技は超音波画像をみながら行うのが一般的ですが、最近では事前に撮影しているMRI画像を検査時の超音波画像に融合する新規手技が保険で認められるようになりました。当科では2024年4月からこの診断方法を適応のある患者様に実施していますが、その診断精度などを比較検討することで今後の前立腺がんの診断能力の向上、早期発見に役立てたいと考えています。

（３）研究の方法について

当院の診療記録を参照してデータ（年齢、組織診断、検査データ、画像データ、合併症など）を収集します。この研究のために患者さんおよびご家族に新たに診察、検査、治療などを依頼することはありません。

（４）個人情報の取扱いについて

研究にあたっては、個人を容易に同定できる情報は削除したり関わりのない記述等に置き換えたりして使用します。また、研究を学会などで発表する時にも、個人を特定できないようにして公表します。

（５）研究成果の公表について

この研究成果は学会発表等で公表します。

（６）利用又は提供の停止

研究対象者又はその代理人の求めに応じて、研究対象者が情報の利用を停止することができます。停止を求められる場合には、下記（７）にご連絡ください。

(7) 問い合わせ等の連絡先

滋賀県立総合病院 泌尿器科 吉田徹

住所：〒524-8524 滋賀県守山市守山五丁目4-30

電話番号：077-582-5031